

【ニュースリリース】

2021年9月30日

各位

株式会社アドバンテッジパートナーズ

パイブド HD 株式会社に対する公開買付けの開始に関するお知らせ

株式会社アドバンテッジパートナーズがサービスを提供するファンド（以下「AP ファンド」）が出資する特別目的会社である株式会社ミライサイテキグループは、パイブド HD 株式会社（以下「パイブド HD」。証券コード：3919）が発行する普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」）を開始することを決定致しましたので、お知らせ致します。

パイブド HD 及びそのグループ会社（総称して以下「パイブド HD グループ」）は、「未来に最適を」という経営理念を掲げ、社会がより良い未来へと向かうために、真に必要とされる IT サービスを提供することを目指す企業グループです。パイブド HD グループの主力サービスであるローコード開発プラットフォーム「スパイラル[®]」は、カスタマイズ性・汎用性が高く、CRM ツール・メール配信システム・業務効率化ソリューション等に幅広く使われており、加えて、パイブド HD グループでは、広告事業、xTech 事業、社会イノベーション事業などの事業を展開しています。なお、パイブド HD の代表取締役社長である佐谷宣昭氏（以下「佐谷氏」）は、本公開買付けの成立後も継続してパイブド HD の代表取締役社長として経営にあたることについて AP ファンドと合意しており、今後は佐谷氏・役員・AP ファンドが一体となって成長を加速し、持続的な企業発展を目指して参ります。

アドバンテッジパートナーズグループは、テクノロジー領域への投資に長年コミットして参りました。バイアウト投資を行う AP ファンドを通じて、2000 年にカネボウグループの情報システム事業部を分社化した株式会社キスコソリューション（現株式会社電通国際情報サービス）を嚆矢とし、2003 年に米 intuit 社から独立した弥生株式会社、2004 年に親会社の事業再編に伴って独立した 1st ホールディングス株式会社（現ウイングアーク 1st 株式会社）等、20 年以上にわたって特色あるテクノロジー企業の成長を支援しております。直近では、AP ファンドの投資先企業で、BNPL サービスの世界的パイオニアである株式会社ネットプロテクションズが、大型の調達を発表しています。

また、上場企業への成長支援投資を行うファンドより、株式会社 E ストアー、株式会社メタップ

ス等に投資し、直近では、株式会社ビザスクの海外大型買収を資金面で支援致しました。更に、アジア地域におけるバイアウトファンドより、東南アジアにおけるシステムインテグレータ・DX アクセラレータである MDI Novare への投資を今年実行しております。

この様に多方面で蓄積したテクノロジー領域における知見やネットワークにより、パイブド HD グループの更なる成長に貢献し、日本とアジア圏のテクノロジー領域へのコミットメントを高めて参ります。

■アドバンテッジパートナーズ パートナー 市川雄介コメント

「AP ファンドは 2000 年代初頭からテック企業への投資をアクティブに行って参りました。ファーム内にはテック・B2B サービスにフォーカスしたチームを組成しており、多数の成長支援を行っています。この度はパイブド HD 様の非公開化を伴う成長支援の機会を頂き、主力サービスであるローコード開発プラットフォーム「スパイラル[®]」の多様な使われ方が示す高い優位性を生かすべく、ファーム内に蓄積した知見やネットワークを総動員する所存です。これにより、パイブド HD のお客様の売上や業務効率性の向上に資すれば幸いです。」

(添付資料)

2021 年 9 月 30 日付「パイブド HD 株式会社（証券コード:3919）の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」

以 上

2021年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社ミライサイテキグループ
代表者名 代表取締役 小坂 雄介

**パイプドHD株式会社（証券コード：3919）の株券等に対する
公開買付けの開始に関するお知らせ**

株式会社ミライサイテキグループ（以下「公開買付者」といいます。）は、2021年9月30日、パイプドHD株式会社（証券コード：3919、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）市場第一部上場、以下「対象者」といいます。）の普通株式（本新株予約権（以下に定義します。以下同様です。）の行使により交付される対象者の普通株式を含みます。以下「対象者株式」といいます。）及び後記「（2）買付け等を行う株券等の種類」の「②新株予約権」に記載の新株予約権を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）に基づく公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

公開買付者は、本公開買付けを通じて対象者株式の全て（ただし、本新株予約権の行使により交付される対象者株式を含み、公開買付者所有対象者株式（以下に定義します。）、対象者が所有する自己株式及び佐谷氏不応募合意株式（以下に定義します。以下同様です。）を除きます。）を保有することを主たる目的として2021年8月24日に設立された株式会社です。本日現在において、投資事業有限責任組合アドバンテッジパートナーズVI号（当該ファンドは日本の投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づき、2020年3月に設立されました。以下「本ファンド」といいます。）が、公開買付者の発行済株式の全てを所有しております。なお、本ファンドは、株式会社アドバンテッジパートナーズ（以下「AP」といいます。）が投資機会の紹介及び投資実行後の対象企業のモニタリングの実行に関する助言等のサービスを提供するファンドです。また、公開買付者は、2021年9月16日、対象者の代表取締役社長であり、筆頭株主でもある佐谷宣昭氏（以下「佐谷氏」といいます。）（所有株式数：2,821,100株、所有割合（注1）：35.58%）との相対売買により、対象者株式100株を1株当たり2,634円（当該取得日の前日である2021年9月15日時点の東京証券取引所における対象者株式の終値）で取得しており、本日現在、公開買付者は、対象者株式を100株所有しております（以下、当該株式を「公開買付者所有対象者株式」といいます。）。また、AP及び本ファンドは、本日現在、対象者株式を所有しておりません。

（注1） 「所有割合」とは、（i）対象者が2021年9月30日に公表した「令和4年2月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」（以下「対象者四半期決算短信」といいます。）に記載された2021年8月31日現在の対象者の発行済株式総数（8,190,064株）に、（ii）対象者が2021年5月31日付で提出した第6期有価証券報告書に記載された2021年2月28日現在の全ての新株予約権（第3回新株予約権791個（目的となる株式数：79,100株）、第4回新株予約権400個（目的となる株式数：40,000株）であり、第3回新株予約権と第4回新株予約権の合計は1,191個（目的となる株式数：119,100株））から、2021年3月1日以降2021年8月31日までに行使され又は消滅した新株予約権（458個（対象者によれば、第3回新株予約権58個（目的となる株式数：5,800株）、第4回新株予約権400個（目的となる株式数：40,000株））を除いた数の本新株予約権（733個（対象者によれば、第3回新株予約権733個（目的となる株式数：73,300株）、第4回新株予約権0個（目的となる株式数：0株））の目的となる株式数（73,300株）を加算した株式数（8,263,364株）から、（iii）対象者四半期決算短信に記載された2021年8月31日現在の対象者が所有する自己株式数（334,532株）を控除した株式数（7,928,832株）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入しております。）

をいいます。

AP は、平成9年に日本で最初のバイアウト専用ファンドに対してサービス提供を開始して以降、日本のプライベート・エクイティ投資市場の黎明期から市場の立ち上げを担ってきた国内独立系サービスプロバイダーです。AP は、AP 及びそのグループ会社を通じて、日本の中堅企業を対象としたバイアウトファンド、アジアの中堅企業を対象としたバイアウトファンド、マイノリティ投資を通して上場企業の成長支援を行うプライベートソリューションズファンドの運営を行っております。AP は24年間の活動を通してサービス提供先ファンドによる累積で約100件の投資実績と、内部に蓄積された各種ノウハウ、そして経験豊富で能力の高い人材群を大きな強みとし、「ファンド投資先企業を、ファンドから離れた後も競争力ある企業として発展し得る企業へと支援する」、「単にファンドとその投資家に価値提供をすることにどまらず、他の株主、経営陣、従業員・家族、取引先、金融機関など、すべての関係者がAPの投資支援活動を通して経済価値を享受できるように、投資実行のプロセス、投資後の経営プロセスを管理・実践する」を理念として、活動を行ってきました。APにおける2020年以降のバイアウトファンドの投資実績として、プリント基板の製造等を行う富士通インターコネクトテクノロジー株式会社、歯科材料や医療機器等の販売を行う株式会社デンタルホールディング、技術者派遣・請負等を行う株式会社キット、高級腕時計を中心とした中古ブランド品の売買を行う一風騎士ホールディングス株式会社、健康食品・化粧品販売等を行うキューサイ株式会社、レーザー加工機及びドリル穴明機の製造等を行うピアメカニクス株式会社への投資があげられます。また、2021年7月には、昭和電工マテリアルズ株式会社の蓄電デバイス・システム事業の譲受けについて、同社と最終契約を締結したことを発表しております。

今般、公開買付者は、東京証券取引所市場第一部に上場している対象者株式（ただし、本新株予約権の行使により交付される対象者株式を含み、公開買付者所有対象者株式、対象者が所有する自己株式及び佐谷氏不応募合意株式を除きます。）の全て及び本新株予約権の全てを取得することにより、最終的に対象者株式を非公開化するための一連の取引（以下「本取引」といいます。）の一環として、本公開買付けを実施いたします。

本公開買付けは、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注2）の一環として、対象者取締役会の賛同のもと、友好的に対象者株式の全て（ただし、公開買付者所有対象者株式、対象者が所有する自己株式及び佐谷氏不応募合意株式を除きます。）を取得するために実施されます。また、本取引の実行後、佐谷氏は、本公開買付け成立後も継続して対象者の経営にあたる予定であり、また、企業価値向上のために共通の目標を持っていただくため、基本契約書に基づき、佐谷氏が、本取引後に予定されている、公開買付者と対象者の間での存続会社の普通株式を合併対価とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）後の存続会社の議決権の33.00%を所有することを企図しております。なお、本合併において存続会社を公開買付者及び対象者のいずれとするかは、今後対象者と協議の上決定する予定であり、本日現在未定です。

（注2） 「マネジメント・バイアウト（MBO）」とは、公開買付者が対象者の役員との合意に基づき公開買付けを行うものであって対象者の役員と利益を共通にするものである取引をいいます。

公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、佐谷氏（所有株式数：2,821,100株、所有割合：35.58%）との間で、2021年9月30日付で、基本契約書を締結し、その中で、佐谷氏は、佐谷氏が所有する対象者株式2,821,100株の全て（所有割合：35.58%。「佐谷氏不応募合意株式」といいます。）について本公開買付けに応募しないことを、合意しております。

本取引の一環として行われる本公開買付けの概要は以下のとおりです。

（1）対象者の名称

パイプドHD株式会社

(2) 買付け等を行う株券等の種類

- ① 普通株式
- ② 新株予約権

2017年5月16日開催の対象者取締役会の決議に基づき発行された第3回新株予約権（「本新株予約権」といいます。）（行使期間は2020年6月1日から2022年5月31日まで）

(3) 買付け等の価格

- ① 普通株式 1株につき金2,800円
- ② 本新株予約権 1個につき金175,100円

(4) 買付け等の期間

2021年10月1日（金曜日）から2021年11月15日（月曜日）まで（31営業日）

(5) 決済の開始日

2021年11月22日（月曜日）

(6) 買付予定の株券等の数

買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
5,107,632株	1,830,400株	—

(7) 公開買付代理人

大和証券株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

なお、本公開買付けの具体的内容は、本公開買付けに関して公開買付者が2021年10月1日に提出する公開買付届出書をご参照ください。

以上